



「よかった～城南中で」と思える、思われる学校

城南中だより

第1号

令和7年4月11日

文責 校長 益田政季

Tel 24-4338

Fax 24-4339



本校ホームページQRコード
<https://www.education.saga.jp/hp/jonan-j/>

『城南中学校生徒としての誇りをもち、たくましく生きる生徒の育成』
～「城南魂をもち主体的に学び、人の気持ちのわかる人」を目指して～

■「よかった～城南中で」と思える、思われる学校をつくっていきます！

はじめまして、私は令和6年度末の定期人事異動で佐賀市立城南中学校の校長を拝命いたしました益田政季です。この伝統ある城南中学校に赴任できることを大変光栄に思うとともに、とても身が引き締まる思いです。これまでの2万5千名を超える卒業生一人一人が積み上げてきた輝かしい実績と、この学校で勤務してきた全ての先生方が、心血を注いで教育活動に臨んできた思いに応えるべく、全身全霊で頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私はこのたび城南中学校に赴任するにあたって、全校生徒の皆さん、保護者様、地域の皆様、本校教職員と一丸となって、「こんな学校にしたい」という思いがあります。それが、一言で言えば「よかった～城南中で」と思える、思われる学校です。

中学生の時期は、子どもたち一人一人に頑張りたいことがあるかと思います。「勉強を頑張りたい」、「部活動を頑張りたい」、「習い事や社会体育を頑張りたい」・・・、人それぞれにめざす「なりたい自分像」があるかと思います。もちろん、今その目標を探している子どもたちもいるとも思っています。そのようなめざす自分になるために、子どもたちは一生懸命努力をします。しかし、中には、周りからどう思われるかを気にするあまり、自分をさらけ出すことに抵抗があったり、恥ずかしがったりする生徒がいるかもしれません。私は、全ての子どもたちが「今頑張るべきこと」に安心して取り組める学校、お互いを支持する雰囲気のある学校にしたいと考えています。そのためには、子ども一人一人が教職員や子どもたち同士で頑張ったことを承認される（ほめられる）ことが不可欠と考えています。このことによって、子どもたちは自分の頑張りに自信を持ち、またさらなる高みを目指して努力してくれることでしょう。また、仲間の頑張りにも気づき、自分のほうから仲間を自然と承認する好循環にもつながるでしょう。このような学校にするためには、承認するのは教職員からだけでなく、生徒同士も承認しあう雰囲気が大切だと考えます。また家庭では保護者の方や家族から、そして地域からも子どもたちの頑張りを承認していただくことも大切であると考えています。学校の内外でこのような雰囲気をつくっていくことで、子どもたちが、保護者様が、地域の方が、本校教職員が、「よかった～城南中で」と思える、思われる学校になっていくものと考えます。

保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、どうぞ子どもたちの頑張りに気づいていただき、機を逸することなく承認して（ほめて）いただければと思います。また、地域の中での子どもたちの頑張りを校長まで教えていただければ幸いです。

これから、どうぞよろしくお願いします。



■在校生全員で新入生を迎える準備をしました！

入学式前日の午後、在校生全員で新入生を迎える準備をしました。式場となる体育館を3年生が中心となって、学校全体を2年生が中心となって準備をしました。人目が付きやすい場所はもちろん、あまり新入生や保護者様が通らないような場所まで膝をついて拭き掃除をする生徒、カーペットのごみを、ガムテープ等を使って一生懸命に取る生徒、駐車場づくりを頑張るサッカー部員など、見事な活躍ぶりでした。この誠心誠意な活動こそ「美しい心」そのものでした。おかげでいい入学式になりました。みなさん、ありがとうございました。



体育館の会場づくり。たくさんいすを並べます。



教室のロッカー、細かいほこりも見逃しません！



靴箱もピカピカ